

荒川における工事関係者の救助について（第2報）

荒川では、本日河川内で工事を実施していましたが、昨日からの降雨と融雪により河川水位が急激に上昇し、国発注の工事関係者が河川内に取り残される事案が発生しました。

15時53分に工事受注者より消防へ救助を要請し、17時05分に新潟県警防災ヘリコプターにより救助されました。

記

1. 発 生 日：平成31年2月4日（月）
2. 場 所：村上市荒川縁新田地先 荒川河川内 別紙位置図参照
3. 発 生 状 況：中州に工事関係者6名、建設重機6台が取り残される。
4. 対 応 状 況：
 - ・15時53分に工事受注者より村上市消防本部へ救助を要請しました。
 - ・17時05分に新潟県警防災ヘリコプターにより6名を救助。
 - ・救助された6名の健康状態に、異常はありません。
 - ・羽越河川国道事務所では、17時00分に防災体制（その他災害：注意体制）を発令し、河川水位や取り残された建設重機の状況などの情報収集・監視を行っています。
5. そ の 他：
 - 工 事 名：荒川縁新田低水護岸災害復旧工事
 - 受注者名：（株）富樫組

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟日報（村上支局）
村上新聞社
いわふね新聞社
その他専門紙

問い合わせ先



国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所
副所長（河川）：松井 渉

TEL：0254-62-3211（代）

別紙位置図

